

---

# マッカーサー アングリカンスクール

留学生向け学校案内



# 校長からの ごあいさつ

BA, DipEd, MEd, EdD

D・P・ノックルズ博士

## はじめまして

マッカーサーアングリカンスクールにご関心をお寄せいただきありがとうございます。本校は25年以上にわたり国際性を重視しており、サポート豊かなキリスト教的環境の中で様々な出身国の生徒に一流の教育を提供しています。

生徒は、大学進学に注力した質の高い本校の教育を受けることによって、グローバル労働市場で優位な立場に立つことができます。本校には色濃いアカデミック気風があるだけでなく、生徒が自分の秀でる特殊な分野を見つけることができるよう課外活動の機会も幅広く用意されています。マッカーサーアングリカンスクールは、批判的思考、自己修養、高潔さ、企画準備力、リーダーシップ、起業家的能力、コミュニケーション能力など必要とされる数々のライフスキルを発達させる機会の提供に努めています。

留学生プログラムが大きく成功し発展を遂げていること、そして、多様な文化に触れることが留学生とオーストラリアの生徒に恩恵をもたらしていることを、私たちは誇りに思っています。

本校の指導の中核をなす、価値観の基盤となっている態度のことを私たちはMacarthur Way (マッカーサーの流儀)と呼んでいます。敬意、高潔、誠実、卓越、学習、自己修養、責任、謙虚、寛大というその価値観の柱は、本校教員が手本となり常に生徒に示されています。

学校、保護者、生徒という三者間の関係は、教育の成功の鍵を握るものです。明日を力強く生きる生徒を育てる本校のエキサイティングな留学生教育のパートナーとして皆様をお迎えすることを楽しみにしております。

*David Nockles*





---

明日を  
力強く生きる  
生徒を育成

# 目次

校長からのごあいさつ	02
所在地と施設	06
アカデミックな気風	09
マッカーサーアングリカンスクールで学ぶ科目	10
マッカーサーアングリカンスクールの1日	12
学業のサポート	12
課外活動	15
マッカーサー卒業後の進路	17
ホームステイファミリーの声	18
ホームステイ	20
入学の手続き	23



## 所在地と施設



マッカーサーアングリカンスクールはシドニー市街中心部から1時間のところにある風光明媚な34ヘクタールの広大な敷地に立っています。ウーロンゴンからも1時間、キャンベラからは2時間、ブルーマウンテンズからは1時間半です。マッカーサーはシドニーでも急成長が著しい地域で、西シドニーの新空港開発地からも近距離にあります。

本校は、その規模と立地で、シドニーにありながらユニークな就学環境を実現しています。マッカーサーアングリカンスクールの敷地には、スポーツ、野外授業、学校農園のためのふんだんな屋外スペースがあります。

## 情熱を探求 才能を育成

### 卓越の伝統

マッカーサーアングリカンスクールは、生徒の大学進学準備を積極的に行っています。本校は、南西シドニー首位の進学校です。

### 奉仕

マッカーサーアングリカンスクールの生徒は、校内と校外の両コミュニティに奉仕することを期待されます。校内と地元のコミュニティ、そして海外にも、生徒が他人に奉仕する機会が数多くあります。

### サポートに優れた教員

マッカーサーアングリカンスクールの教員は、訓練を十分に積んでおり、継続的に専門技能を向上させています。教員は本校の教育に献身的に携わっています。教員には、私たちが生徒に期待するのと同じ価値観を自ら態度で示すことが求められています。

### 機会

本校の課外クラブは、教室外で生徒の思考に挑みかけスキルを伸ばすことを目的としています。また、異なる学年の生徒たちと出会い交流する場を提供します。生徒は、音楽、ロボティクス、写真、スポーツ、農業、演劇、美術、スピーチ、弁論などに参加して楽しむことができます。

### 価値観

マッカーサーアングリカンスクールは本校が誇りとして掲げる価値観を教授し、模範を示します。その価値観とは、敬意、高潔、誠実、卓越、学習、自己修養、責任、謙虚、寛大です。

### 生涯学習

本校における教育は、生涯教育の出発点にすぎません。私たちは、生徒の学習意欲と向上心を目覚めさせ、卒業後も末長く続く学びへの情熱を形成することに努めています。

マッカーサーで学ぼうとする日本人留学生には、短期から長期まで就学期間の選択肢が豊富にあります。





# アカデミックな気風

マッカーサーアングリカンスクールは、高い学業成績を目指すよう生徒を奨励します。生徒は挑戦に立ち向かうことを期待され、調査研究の機会を与えられ、深い思考を促されます。それが、本校の持つアカデミックな気風です。

本校が提供する科目はすべて大学入学に向けて得点を獲得できるものです。

生徒の目標達成を支援するため、マッカーサーアングリカンスクールは様々な留学生向けサポートを提供しています。生徒が能力を最大限発揮するためのキーポイントは英語力です。本校のEnglish as an Additional Language/Dialect (第二言語／第二方言としての英語、略称EAL/D) 教員は、全科目にわたって生徒の学習を緊密にサポートします。

校舎は、最新のタッチパネルと技術を備えた冷暖房を完備しています。クラス規模は25人程度です。科目の選択肢が多い第11および12学年では、クラス人数が6人という場合もあります。クラスを少人数にして、教師が生徒ひとりひとりに十分気を配り、潜在能力を発揮させることができるようにしています。



# マッカーサーアングリカンスクール で学ぶ科目

## 第7および8学年で学ぶ科目

---

英語	歴史	テクノロジー (ワークショップおよびコンピューター)
数学	地理	ビジュアルアート
科学	音楽	聖書
自己啓発・保健体育 (PDHPE)	インドネシア語	

## 第9および10学年の必須科目

---

英語	歴史または地理
数学	自己啓発・保健体育 (PDHPE)
化学	聖書
オーストラリア史	
オーストラリア地理	

## 第9および10学年の 選択科目

---

農業
商業
デザインおよびテクノロジー
演劇
インドネシア語
情報およびソフトウェア・テクノロジー
音楽
ビジュアルアート



## 第11および12学年で学ぶ科目

---

上級英語	地球および環境科学	経済
標準英語	物理	地理
第二言語／第二方言としての英語	古代史	法学
英語エクステンション1	近代史	自己啓発・保健体育 (PDHPE)
英語エクステンション2 (第12学年)	歴史エクステンション (第12学年)	インドネシア語・継続学習者
数学	社会および文化	インドネシア語エクステンション (第12学年)
数学標準2	宗教1	デザインおよびテクノロジー
数学エクステンション1	宗教2	テキスタイルおよびデザイン
数学エクステンション2 (第12学年)	演劇	情報処理およびテクノロジー
農業	音楽1	ソフトウェア設計および開発
生物	音楽2	ビジュアルアート
化学	音楽エクステンション (第12学年)	
	ビジネス	

# マッカーサーアングリカンスクールの1日

## 第7～12学年

---

7.00-7.15am	バスに乗って登校	
8.10am	始業	
10.40am	休み時間	
11.00am	授業再開	
1.00pm	昼休み	
1.40pm	授業再開	
2.40pm	終業	バスに乗ってホームステイ先へ
3.00pm	課外クラス開始	毎週月曜4:15pmまでの第二言語／第二方言としての英語クラスは必須

---



## 学業のサポート

留学生は全員、毎週2:45pmから4:15pmまで英語補習授業を受けることになっています。これは、お子様の学業英語力の向上をさらにサポートし、アセスメントの準備を助けるものです。

10～12学年生には、週4日（月～木曜）4:30pmから7:30pmまで本校の図書館で勉強する機会が与えられます。この自習会は教員の立会いのもと、夕食付きで行われます。本校施設を活用して規律ある勉強時間を持ちたい生徒には最適です。帰宅の交通手段については、少額の料金がかかりますが、ホームステイファミリーの助けを得ることができます。



生徒の評価は様々な方法で行われます。宿題、授業中のテスト、試験、口頭による発表、グループ作業などがその例です。生徒は、毎年、科目ごとにどの方法が用いられるか通知されます。

生徒は本校が提供する科目以外にも、もう一つ言語を選び、NSWスクール・オブ・ランゲージズの通信教育で学ぶことができます。マッカーサー・アングリカンスクールの教務部長が受講中のサポートとアセスメント課題提出の監督を行います。

オーストラリアの学校教育では、生徒は自主的に学ぶことが求められます。勉強時間と学習計画については、その過程で逐一指示を受けるのではなく、自分で管理するよう促され支援されるのです。大学のキャンパスと同じように本校でも、生徒は教科ごとに別の教室、教員へと移動しながら1日を過ごします。

月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日





# 課外活動

教室の外で行われる課外活動は、お子様に価値をもたらすマッカーサーアングリカンスクールの重要な特徴です。課外プログラムは、生徒が自己を模索し自己に挑戦する活動を通して、個性とスキルを発展させる機会を数多く提供します。

課外活動には、音楽(管弦楽団、コンサートバンド、スイングバンド、合唱団、太鼓隊の演奏)、エディンバラ公国際賞(ハイキング、地域奉仕、スキル、身体活動など)、スポーツ、農業祭チーム、演劇クラブ、チェスクラブ、スピーチ、弁論、写真クラブ、サウンド・照明、ロボティクス、その他数多くのプログラムがあります。



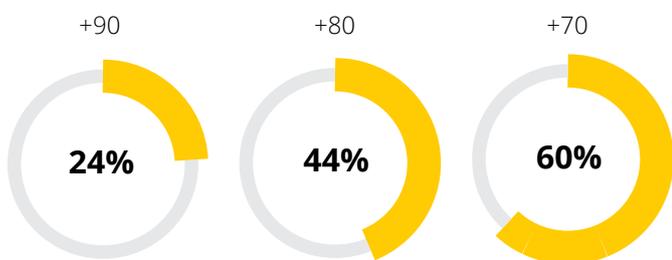
# マッカーサー卒業後の進路

## 大学とのつながりで早期入学内定

マッカーサーの教育は、生徒の生涯教育の出発点となります。本校が用意する科目はすべて大学入学審査科目で、生徒が大学へ入学するための堅固な基盤となるものです。

マッカーサーアングリカンスクールはニューサウスウェールズ州で上位100校に繰り返し挙げられている進学校です。

### 過去3年間における本校のATAR成績



マッカーサーアングリカンスクール卒業生の90%が大学入学資格を得ています。地元大学から高い定評を得ている本校は、早期入学内定プログラムに申し込む生徒をサポートします。

大学進学希望者のコース選択については、シニアスクール部長がサポートします。生徒はシドニー大学、ニューサウスウェールズ大学、シドニー工科大学、マッコリー大学、ウーロンゴン大学、ウェスタンシドニー大学など様々な大学に進学しています。



# ホームステイファミリーの声



## 一 パット一家

「ホームステイ受け入れは初めてで、どんなものなのか、よくわかっていませんでしたが、日が近づくにつれ、私たちの期待は高まってきました。ユメという女子生徒を迎えた我が家はとても幸運でした。ユメは英語力こそ未熟なもの、とてもよい子で、私たちの日本語力もほぼゼロでしたが、なんとかコミュニケーションをとることができ、素晴らしい関係を築くことができました。いつもドタバタしている我が家を生徒はどう思うだろうなどと、いろいろ心配していましたが、そういうところを一番気に入ってもらえました。

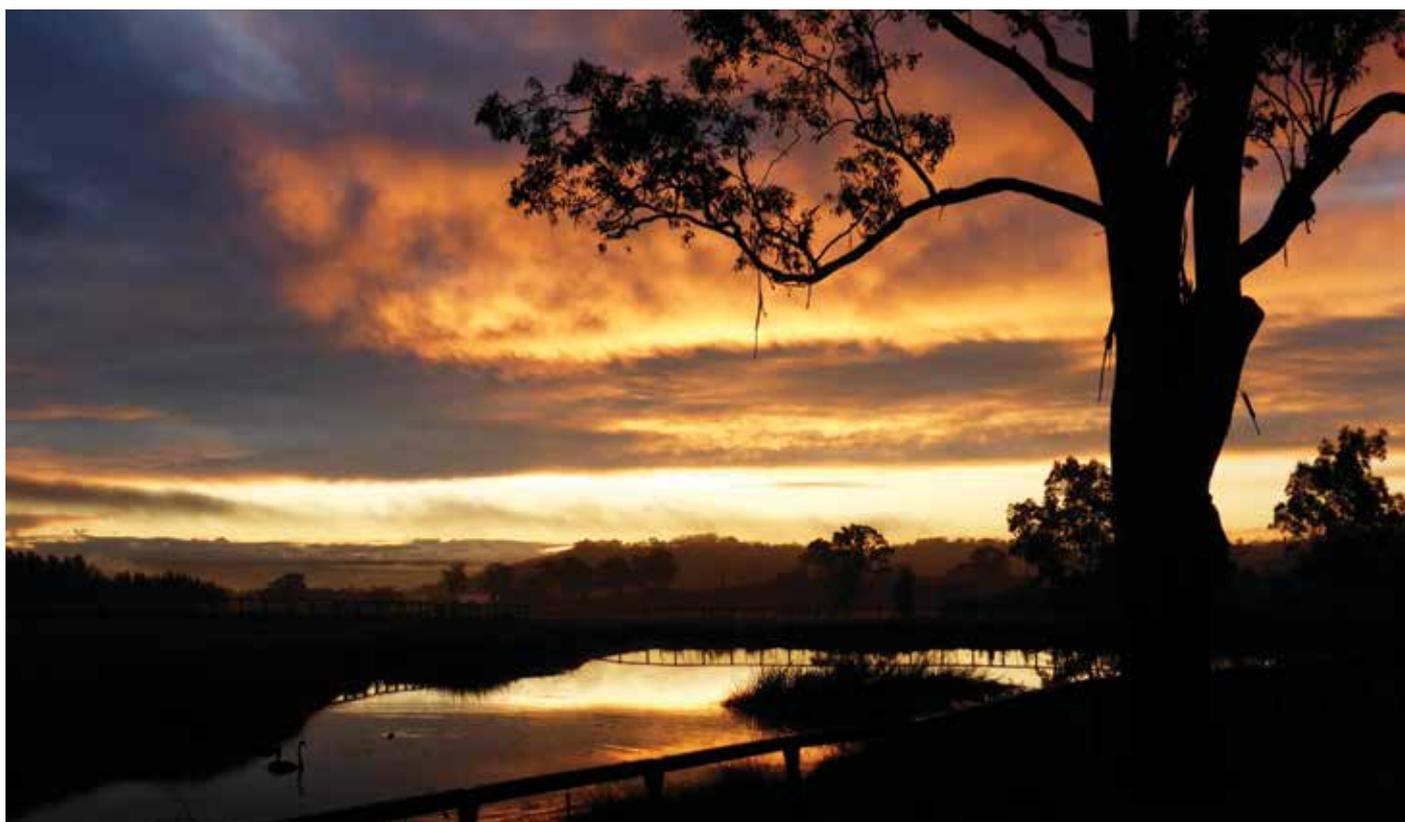
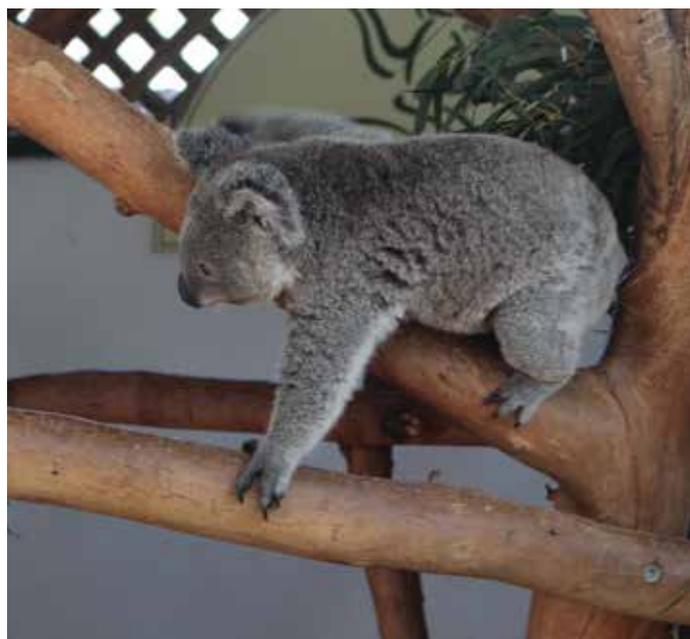
日本とは大きく異なるここオーストラリアの生活様式と文化こそ、ユメが体験したかったものでした。ユメはネットボールやラグビーの練習をしたり、スクールコンサートに行ったり、犬の散歩をしたり、ゲ

ームをして遊んだり、私たちの友人と会ったり、写真クラブに行ったり、音楽のレッスンを受けたりと、我が家の予定行事にはいつも同行しました。まさに家族の一員になっていたのも、2週間の滞在を終えたユメにさよならを言うのは、ほんとうにつらいことでした。

我が家のひとりひとりとユメとの間に絆が結ばれました。生徒と共に住み、共に過ごすことによって、私たち家族は多くを得ることができました。家族にとって非常によい経験であり、成長の糧となるものだと思います。間違いなく人生を豊かにしてくれるものです。」

# 日本との 長い交流の歴史

マッカーサーアングリカンスクールと日本との間には、20年以上続く姉妹校交流に基づく長い歴史があります。日本大学第三高等学校とマッカーサーアングリカンスクールは何年にもわたって相互訪問を行っています。下の写真は、本校の姉妹校、日本大学第三高等学校の生徒が東京からオーストラリアを訪れ、本校ジュニアスクールの生徒に日本の文化を紹介しているところです。





# ホームステイ

## 心温かいマッカーサーのコミュニティー

どの留学生も学生ビザの交付を受けるためには、本校が承認する福祉手配および宿泊先の確保が必要になります。お子様がオーストラリアの家族と共に生活するホームステイは、地元家族の一員となってオーストラリアの生活様式を知ることができる素晴らしい体験です。オーストラリアは多文化国家なので、本校のホームステイファミリーの出身背景は様々ですが、どのファミリーも英語を話します。

**本校生徒の福祉手配と宿泊先には、次の2つの選択肢があります。**

1. 親または親族がガーディアンビザを申請してオーストラリアに住み、生徒と同居します。そのガーディアンシップについてオーストラリア内務省から承認を受けます。
2. 生徒は、学校が手配するホームステイ先への滞在を申し込みます。その場合、学校からCertificate of Appropriate Accommodation/ Welfare Arrangements (適切な宿泊先/福祉の確認書、略称CAAW) を受け取ることによって、生徒は内務省にビザを申請することができます。



マッカーサーアングリカンスクールでは、学校が福祉とホームステイを管理しています。後見人には本校の国際教務主任を任命します。生徒の受け入れ先はすべて学校と面識のある家族で、定期的に家庭チェックも受けています。ホームステイ先とは定期的に連絡を取り合っています。

ホームステイファミリーは生徒の学習を支援し奨励します。ホームステイには家具付き個室、週7日の全食事、Wi-Fiインターネット接続が含まれます。ホームステイ代とは別にバス通学費用がかかります。ホームステイ先はすべて、バスを利用できる場所にあります。





# 入学の手続き

マッカーサーアングリカンスクールは、学生ビザ(サブクラス500)および一時滞在ビザを保持する生徒を受け入れています。また、オーストラリアの国籍または永住権を保持し、英語を母語としない生徒の入学も支持しています。

ビザの種類にかかわらず英語を母語としない生徒は、英語テストを受験する必要があり、入学前に英語コース就学を求められることもあるのでご注意ください。生徒は個別に評価を受け、その結果によって必要な英語学校就学期間が決まります。

マッカーサーアングリカンスクールは6歳以上の生徒を受け入れています。生徒は第6学年を修了するまで親または家族の一員と同居していなければなりません。その後はホームステイに移るか、親族との同居を継続するかを選ぶことができます。

## ステップ1

申込書、パスポートのコピー、成績表(認定翻訳者によって英語に翻訳されたもの)、受験した英語試験があればその成績を提出してください。

## ステップ2

国際教務主任がご連絡をとり、都合のよい時間をうかがって生徒のオンラインビデオ面接を行います。ほとんどの生徒は英語テストも受ける必要があります。

## ステップ3

学校が合否をお知らせします。この時に、生徒が必要とする英語コース就学期間と推奨入学日をお伝えします。

## ステップ4

入学内定通知(offer)が発行されます。保護者はそれに署名し、入学料を納めて承諾してください。この後で、Confirmation of Enrolment(入学許可証、略称CoE)とConfirmation of Appropriate Accommodation and Welfare Certificate(適切な宿泊先および福祉の確認書、略称CAAW)が発行されます。(これらは、サブクラス500学生ビザにのみ当てはまるビザ申請書類です。)この時点で、生徒は学生ビザを申請することができます。

## ステップ5

オーストラリアへの渡航計画を立てましょう。サブクラス500学生ビザ申請者の場合、航空券はビザが交付されてから購入するのがよいでしょう。学校は、この期間にオリエンテーション書類をお送りします。



International Registrar (国際教務主任)

直通電話: +61 2 4629 6229

Eメール: [international@macarthur.nsw.edu.au](mailto:international@macarthur.nsw.edu.au)

ウェブサイト: [macarthur.nsw.edu.au](http://macarthur.nsw.edu.au)

CRICOS番号 02269K